

問11 後期高齢者終末期相談支援料についての意見	
159	若年で治る見込みのない病を患い、かつ延命するくらいしか医療方法がない者は相談できないのか、患者に身寄りがなく、事前に弁護士等を通じて自らの終末に関する文書を用意していた場合、患者の意思はないとして、この話し合いなし文書は効果あるか？
160	全ての人に無料が望ましいと思う。
161	高齢者＝親ということは、その家族は同居、別居、いろいろな形の家族があるが、どのあたりまでを家族というのか、それによって相続、財産などの問題も発生しかねない。また、だれの意思をもって「患者・家族」の「くくり」をするのか、結構プライベートな問題を公的医療を使うのは無理があると思う。
162	前向きで良いと思います。
163	相談料は診療費には含まれないと思うから。
164	医師や看護師が十分な治療してくれたことに対するものだから、支払うのは当然だと思う。
165	病人の気持ちと医師などが十分話し合えば支援料を払っても良いと思います。
166	医師と患者との信頼関係が、「金」の関係になるような気がします。終末期は「運命」と割り切って全て医師への信頼にゆだねて終わりたい。相談もお金でなく、信頼によりなされるものであって欲しい。
167	人生長年生きていれば、どのようになって行くのか先生及び患者及び家族もわかっていることだし、誠意をもってお互いが話し合いをし文書等にまとめて提供することは、希望者に限り提出して頂いて、支援料の件も、患者やその家族にいう必要はあると思います。文書頂かなくても請求される可能性あり。
168	重い病気など、治る見込みがない状況となった患者とか、年齢に差別つけることなく、医師が患者の相談にのけることは、それが仕事であってあたり前のことだと思います。
169	年齢で区別するのはおかしいと思う。71歳以下の方も、ターミナルの方もいる。74歳11ヶ月だった場合、生年月日で区別するのはおかしいと思う。年齢で区別するのではなく、あくまでも自分の意思であると思う。自分の最期は自分で決めたいと思う（認知症でない場合は、認知症の場合は仕方ないが）。
170	治る見込みのない病気になるまで、ただでさえお金がかかるのに、なんでまた相談や文書で金を取るのかわからない。
171	医師や看護師が説明や相談をすることは当然なことだし、治療費や検査費など支払うのだから、支援料を支払うことはおかしいと思います。いろいろな面で高齢者の方々の負担が多く、何のために政治家がいるのでしょうか。先のことを考えると寒気します。
172	後期高齢者の方だけでなく、終末期相談支援料を必要とする方は人勢いると思うので、限定するのはおかしいのでは…
173	治る見込みのない病気が高齢者だけでは決して限らないので、年齢制限をする時点でおかしいと思います。しかも患者が亡くなるまでに莫大なお金を必要とするのは看護するほうなのに、相談料と称して医療機関にお金が支払われるのはどう考えてもおかしいです。
174	後期高齢者終末期相談支援料の導入は良いことだと思うが、年齢区分は必要ないと思います。
175	年齢は関係ない方が良くと思う。

問11 後期高齢者終末期相談支援料についての意見	
176	病気の治療と同じと考えた方がいいのではないのでしょうか？
177	後期高齢者の場合は、支援料はとる必要はないと思います。無料でもいいです。
178	医師等の医療従事者が、終末期診療方針等について患者本人や家族等に説明し、とりまとめの文書を残すのはあたり前のこと。診療報酬は不必要と思う。
179	ややこしくしてさっぱりわからない。
180	老後に関しては、様々な不安が生まれるものであり、実のある相談が必要である。それに対して医療機関が充分に対応できるようにするためには、必要な制度だと思う。ただ料金を具体的に示せると良い。
181	わからない。
182	医学的根拠に基づいているから、1回でも充分だと思う。常々家族と話し合っていれば患者さんも納得の上だと思う。延命治療のみの方りは良くないと思う。人間である以上、植物人間にはなりたくないと思います。
183	相談料として特別に支払われることは好ましくない。こういったこと全て含めて終末期医療とすべきだと思う。相談支援はすべきだが、それに料金がかかってくるのは反対。なぜ特別にこういう項目を設けるのかわからない。
184	75才以上でなくても良いと思う。
185	当然支払われるべき。
186	後期高齢者終末期相談が実施されること自体は良いこととおもいますが、現在でも高齢者医療の負担は大きくなるばかりです。ここで新たに支援料という名目で医療費が使われることには反対です。従来の医療行為の一環として相談は実施されるべきだと思います。
187	逆に支援料を決定することによって高齢者の生活を圧迫することにならないか心配です。何とか70歳以上からお金を取っていくこととしていくように思えてならないのですが…
188	相談し、文書化されて書類として提供をうければ、料金が発生するのは理解できないことはないが、料金が発生することによって相談したくてもできなくなる人が出てくるのでは？そういう人たもほど、相談が必要な人たちだと思います。
189	終末期の治療方法、延命についての意思を患者の意識があるうちに確認しておくことは大切です。一方、後日「言った？言わなかった？」ということで裁判になる事例もあるでしょう。その点からみると、医師側にも文書化しておく必要性があるのではないかとします。このことを考えると（文書化）相談支援料として、患者側（保険）に一方向的負担となくして若干の疑問があります。
190	対高齢者に「後期」などと区別することが気に食わない。人間の終末は年齢に関係なくやってくる。その時の終末期ケアがきちんとできる医療従事者の育成と、体制準備をして欲しい。また、それに対する対価は当然あって良いと思う。
191	少ない年金生活者だから。
192	話し合った内容など確認しながら日常生活への支障など考えるので、文書などは希望します。診療報酬改定とか言われても保険料を支払っているのだから、たとえ一部負担でも払いたくないです。医療機関になぜ相談料を支払わせるのか。

問11 後期高齢者終末期相談支援料についての意見	
193	業務的に適当に行われては困るが、回数や制限し「通りの文書を作成することは医療の一環として行うべきだ。ただいろいろな人間がいるので「何度行っても良い」とすると支援料が出て患者によっては担当する医師が参ってしまうケースもあるかと思う。
194	まだまだ身近に感じられない。
195	・重い病気、治る見込みがない状況となった場合、年令で線引きするのはなぜなのか理解できない。命の重さは若年でも高齢でも変わりはない。年令で線引きすることにより「切捨て」の感が否めない。・0～74歳までの診療では治療方針の説明・相談を行ってからも相談料は請求していないのに、後期高齢者保険になるとコスト請求するのは納得いかない。「老人いじめ」ではないか。ほとんどの老人は年金生活であると思うので経済負担は大きくすべきではない。
196	支援料の額が問題なのだと思う。
197	仕方ないと思う。財源を考えると何でも無料というわけにはいかないから。
198	家族の病状によって医師や看護師に世話になりたいので、相談料など支払っても良いと思う。父87才、母67才で亡くしているのいろいろ説明を聞いた方が自分が安心できるような気がする。
199	難しい質問です。その時になってみないと具体的な気持ちはわかりかねると思います。
200	75歳以上という年齢区分ではなく、年齢制限は(例えば60歳以上とか)決まぬ方が良くないか？
201	良い制度だと思う。年齢制限をしなくても良いと思う。
202	病院に入院していればそれだけでいいと思います。
203	終末期は医療機関はともかく、本人と家族には神聖な時期と思われる。支援料は本人のこれまでの介護保険料、本人負担の総決算と考えるべき。主旨は結構だ。
204	これからはますます高齢者が多くなり、若い人の保険料負担が大きくなり大変になると思う。このような相談は必要なんだけど、それがお金が払われないとできないとは思っています。
205	金額にもよると思うのですが、あまりにも高額な場合はどうかと思う。
206	相談内容を書面にただで、診療費がかかる換算がまったくわからない。
207	よくわかりません。
208	患者の十分な理解がなくても相談料を支払うのはおかしいと思う。
209	定年(60歳)まで引き下げた方がいいと思う。
210	7月1日より凍結となっていますが凍結とすべきです。
211	医師や看護師の義務として教えたり相談にのるのは当たり前と思う。金を取るのとはおかしい。文書や相談をして相手患者や家族は納得しなかったら…、医師によってレバレッジ知識も違ってくるので金を取るのとはへん、おかしい、嫌だ、当然。
212	患者側は上げない出費は避けたいと思うが、医療の現場では相談料を受け取ることで患者や家族に時間を設けることができると思う。
213	末期を向かえている人達を相談料が支払われることで、特別な対応による診療となれば家族も納得して支援できるが、医療はお医者さんに頼るしかないもので、生活の格差で対応が変わることになるような気がします。
214	後々残る遺族も納得できるものと思う。

問11 後期高齢者終末期相談支援料についての意見	
215	現在重視されている問診等も医療行為の一部であると思うとともに、医療相談にあたると思うので相談料として別当算定するのは納得できない。
216	よくわからない。
217	医師等の負担を考慮すれば、ある程度の費用を負担するのはやむを得ないと思うが、料金の妥当性(高すぎる)が問題と思う。
218	終末期の対応としては考えなくてはならないことだが、本人に医師が確認できない場合、結局周りの人の意見でその人の死に方が決まってしまうと思う。特に文書にまでしてしまうと、ただ、医療ミスだとか裁判にされるリスクも多い医療関係者を守る意味でも必要かと思う。ただ年齢や年齢など見直す点も多いと思う。
219	75歳と限定することに疑問があるが、すべてに適用するかとしても難しい問題である。
220	良いことだと思う。
221	終末期相談支援料の案はいいことと思いますが、年令で終末と考えるのは好ましくないと思います。人間である以上終末はあるので、その時々で良いと思う。
222	75歳以上という年齢制限の意味がわからない。個人によって状況は実に様々であると思う。
223	十分な説明・相談は本来医師のやるべき仕事の範囲だと思います。文書にする必要はないと考えます。予算を使えるのであれば医師や医療従事者に必要な「教育」を行って、どこ病院にかかっても一定の説明相談が行える体制作りをしていただきたい。様々な治療法の院がもっと連携して患者にあたることも必要だと思います。
224	医療保険からは相談料など払わずに、もっと医療費を安くした方がいいと思う。
225	医師と患者と家族が終末期について話し合い、それを文書にすることはとてもいいことだと思います。ただそれは後期高齢者だけではなく若年者にも当てはまる人いると思います。本人が希望する治療(痛みの緩和など)を希望する病院で診てもらえるといいと思います。
226	終末期相談支援料がなぜ後期高齢者にのみ設けられたのか納得いかない。
227	別にいいと思う。
228	私の父親は75歳以上です。医療相談料はいらないと思います。紙一枚でもお金がかかります。家族みんな泣いています。私はまだ5年あります。その後75才になります。相談料はなくてください。
229	高齢者だけでなく、すべての終末期の患者さんに適用すべきではないでしょうか。
230	重い病気で治る見込みがない、すべての人間に対して平等に接して欲しい。
231	200点がどのくらいの金額になるのかわかりませんが、できるだけ負担を軽くしていただきたいです。
232	その時に一部負担ができるかどうか不安です。医師や看護師、その他の医療従事者に対して公的医療保険から支払われることに関しては、当たり前のことだと思います。
233	年令に関係なく人として尊厳を守って欲しい。何でも枠組みを作ることに納得できない(支援料も)。
234	治療にあたっては当然の事情であると思う。
235	応は評価できる制度だと思う。

問11 後期高齢者終末期相談支援料についての意見	
236	無料で良いと思います。
237	話し合いを文書に残すことはとても良いことだと思う。その場合、後期高齢者終末期相談支援料も良いが、自己負担（患者負担）も増やすべきだと思う。
238	年齢でくくるのは良くないと思う（例えば74才ですと上記対象にはならないということ）。重い病気、抱える見込みのない状況は0才でも起こることだと思いますし、今も0才の子がそういう重い病気で苦しんでいる親もいると思うので、年齢でくくらず0才対象にしたほうが良いと思います。
239	終末期相談は大変重要な医療行為であるために、年齢を問わずに丁寧に行なって欲しい。相談料の支払いが必要だと思う。
240	やはり年齢区分は必要ないと思う。
241	抱える見込みがない患者さんの不安は年齢には関係ないと思いますが、すべての患者というのは不可能だと思いますので、高齢者といわれる65歳位の人からすればある程度納得いくかと思われま。思った時は本当に人様のアドバイス、いたわりが最も薬ともなり感謝の気持ちと氣力が湧いてくるものと思います。それは病を経験した人にしかわからないことでもあるので難しい問題だと思います。相談料を支払うことにより、より良い充実したものにして欲しいと思います。
242	本人及び家族が賛成される場合、支援の必要ありと思います。
243	おかしいと思う。特に75才以上の高齢者から。なぜという思いしかない。医師はどこまでも名目をつけてお金をむしり取りたいのかと思う。残される家族からも取るべきでない。仕事の一環として相談料なんて取るべきではないと思う。ひどすぎる。
244	いろいろな人の死に出会ってきましたが、このような制度ができたことを初めて知りました。今まではすべて口頭だったように思いますが、お医者様に負担をかける以上費用はかかっても仕方ないと思います。ただその説明があまりに理解できにくい専門的なことであればやっかいで面倒なことだなあと思いました。
245	若く働ける時代に中小企業だったため給料が少なく、それにより苦勞を重ね、少しの不働産収入により診療費が三割になり、後期高齢者医療費も高く大変困っております。
246	4月に夫を亡くしたとして、私自身、終末期はこうして欲しいという希望は元気に身内の者に伝えておいて、いざその時には知らない方がせせなではないか？と思えるようになりました。ですから文書等にする必要はないのではないかと思います。
247	支援料支払はすべきだと思う。患者のことを一番知っていらっしゃる医師、看護師にきちんと相談させていただき、自分の考え（願）も話して納得して終わりたいため。
248	本アンケートでこの制度があることを初めて知りました。まさに面期的なすばらしい制度であると思う。それが現在凍結措置が講じられている由、なぜですか。ぜひ実現を強く望みます。
249	診断書としての内容のものであるから、料金の支払はすべきと考えます。
250	本人または家族が相談を求めたのであれば、相談料を支払うことに問題ないと思う。ただし金額はできるだけ安い方がいい。
251	終末期の相談は当然のことであり相談料は納得いかない。

問11 後期高齢者終末期相談支援料についての意見	
252	患者と医師が相談し合うことは大切なので支援料が必要である。しかも何回も話し合えることが良い。
253	相談を十分にしたいので支援料を支払っても良いと思う。
254	医師に相談すると、すべてが費用として支払わなければならないような状態になりつつあると思う。
255	話し合いを行い、その内容を文書等にまとめて提供することを診療報酬として別に扱うのはおかしい。
256	75才以上とは…どうなのでしょう。年齢で区切るのとは病気になるまで…年取の少ない人とかのことも考えていただきたい。
257	あまり良い制度とは思わない。
258	75才になれば自分で判断がつかなくなるし、見てくれる子どもに負担がかかるなら話し合いなんていらぬと思います。
259	相談支援料の内容についてはよくわかりませんが、現在凍結されているとのことですが解除された方が良いのではないのでしょうか。なぜ凍結されているのですか？
260	支援料は無料とすべきだと思います。高齢者にとって暖かい心遣いだと思います。
261	75才以上（終末期）のお年寄りに対してでも、延命等の説明するのは医師としても義務だと思いますがどうでしょうか？
262	むずかしいですね。
263	文面での解釈ならばいいと思うが、支援料だけを見ると側面的な、すべての病院が同じレベルでやるかは不明瞭な感じがする。お金の絡むと良くない気がする。
264	年齢区分は必要ないと思う。相談をする人の年齢は75才以上とは限らない。
265	料金がかかることに驚きましたが、どのくらいの料金を負担することになるのか具体的な金額がわからないので何ともしよう。高額でなければいいと希望します。
266	同制度について知識がなかったため、現段階でははっきりとは答えにくいのですが、廃止できるのが望ましいと思います。
267	終末期相談支援は医療行為の中に含まれるもので、相談のみで支援料を支払うのはどうかと思います。
268	後期高齢者の終末期の話し合いはとても必要なことだと思います。本人の意思を尊重することがとても大切だと思います。そこに料金を請求するのは問題があると思います。
269	病状の変化や過ごし方まで相談料を払うというのは納得いかない。治療費の一環としてとらえて欲しい。
270	患者一人につき一回限りであればいいと思うが、75才以上を対象にするということについては疑問が残るが…。
271	話し合いが1回1時間程度で終了するものか？複数回日を覚えて数時間かけて作成されることもあると思う。ケースにより違うと思うので適正な料金はどのように算出されるのかわからない。すでに広報されているのですが、私事と実感がなかったので覚えていません。デリケートな事柄にかかる料金なので丁寧な対応・説明を行って欲しいものです。

問11 後期高齢者終末期相談支援料についての意見	
272	本人の意思が反映された医療を望みます。夫の時はすべてが妻である私が決めることになり家族とも話し合いましたが、本人に聞くことはできませんでした。
273	問題点があるかもしれないけど、最後は専門の方いろいろ教えていただきたいので、お互いに良い気持ちで迎えられるのであれば料金が発生するのともやむを得ないと思う。
274	十分な相談につけてくれるか不安です。200点は高額とは思いませんが、
275	この支援料が新設されたこと自体を知りませんでした。我々の世代が年金受給される頃、さらにこの支援料の対象となる頃、年金での生活では不安を感じているので少しでも支援料が出ることに期待します。
276	相談料はムダ。何でもお金にするな。
277	おかしい…。なんで75歳なのか。終末期患者やその家族は何歳であってもたくさんの悩みを抱えているのだから75歳の線引きは大反対。全終末期患者を対象とするならば良い。
278	私の不働産で今まで知りませんでした。が、相談支援料は1回のみ支払い、その後の話し合いは何度でも行えるというのなら、より一層妥当な案ではないでしょうか。
279	相談支援料が発生することに対して疑問。
280	よく理解できません
281	年齢制限の必要はない。成人していれば自分の意志と責任を持って終末期のあり方を病院に伝えて相談していい。
282	全面的に賛成です。
283	75才以上でなくても死期はやってくるので、年齢で区別するのは好ましくない。
284	十分な話し合い等して納得できたなら、していただいたことに対して相談料を支払うことになるのは当然だと思う。ただし十分な話し合いが行われ納得できたというところが最低条件。
285	本人・家族・医師等の中で病状の変化、過ごし方をお互いに納得できるようなのであれば相談支援料に支払は納得できる。
286	過度的にはこれでも仕方ないが、将来的には年齢区分をなくして欲しい。
287	人生の終末期に医師と病状とか生活支援の話し合いが十分にできるのなら、支援料を払っても良いと思う。
288	相談支援料がどのくらいの費用になるのかわかりませんが、その料金にもよります。
289	支払は適切と思う。
290	収入も限られた高齢者の多い中で、終末期を知らされた患者にもっとやさしい国であって欲しい。無料にすべきだと思います。
291	本当は支援料はなしの方がいいと思うが、なんでも金があるの仕方ないがお金で書かせるのはいかか？国が支払うべきです。
292	75才以上ではなく、定年を迎えた60才以上の方がいい。
293	「抱える見込みがない」と悲観的になっている時に、相談できるのは少しでも心の救いになるので良いことだと思います。凍結せず進んでいくべきでは？医師不足といわれる中で、親身に相談のってもらえるかは疑問です。専門のカウンセラーのような人がいればいいのでは？そういう人の養成支援料も必要だと思います。

問11 後期高齢者終末期相談支援料についての意見	
294	健康な方は結構だが、病気になる方をおおのぞきで。早く良くなられて人生と楽しんでいただきたいと祈るばかりです。
295	年齢区分75才以上が対象としか限定されない方が75歳以下はどうなるのか？詳しくわからない。
296	自己負担額がどの程度のものになるのか等、気になることもありますが、終末期相談は必要なものと考えています。支援料が支払われることにより、適正な終末期相談を受けることができるのであれば必要なものとも思います。ただ高額な負担は避けたいです。
297	年齢を限定するのは好ましくない。1人1回というのも手抜きを誘うことになる。主旨そのものは良い。
298	現在75歳未満の人が同じケースの場合は、料金など支払うことがあるのかということ、200点の報酬料が具体的にいくらなのかわからないので判断に困る。ただ後期高齢者医療保険の導入で「生活費がまた減って困った」と言う人が多いのにまた高齢者の負担が増すのはどうかと思う。
299	年を取ってからのほうが何かと医療費もかかるが、75才以上で区切ってしまうのはいかかなものかと思えます。日本を支えてきて下さった方々が多いと思いますので、何かと余計な費用を払わせないように国で何とかして欲しいと思います。
300	抱える見込みのない状況というのは年齢に関係なく、誰にでも起こりうることだと思うので年齢設定をもうけるのはおかしいと思う。また診療報酬だけを考え医師が内容重視ではなく、形式的に（形だけの）話し合いを行う可能性も否定できなくもないので、まず患者とその家族の希望を重視して実施すべきであると思う。
301	労働の対価、文書に対する責任を明確にするために支払うべきである。
302	年齢区分は必要ないと思う。
303	医師が病状に関し、相談や説明をするということは当たり前のことで、患者に対し信頼を持たせることも仕事だと思う。まして75才以上となれば取組にも少なからず、そういう方々からの支援料負担は福祉的な意味で反して思う。
304	患者の家族及び本人に対して適切な相談をするのは当たり前のことであり、それ以上に経済的負担を本人と家族に強いるのは好ましくない。
305	75才以上を対象とするのはどうでしょう。
306	重い病気で抱えないなら、自分の意志を書面に提供されるための支援ならいいと思います。延命の意志もはっきり記入したいです。
307	ちょっとわかりづらいと思う。
308	この書類を見て初めてこのような制度があったことを知りました。高齢者に限らず自分が重い病気にかかった時には、医師や医療従事者にたくさんの相談をしたい、受けてもらいたいということは当然のことだと思いますし、そこに費用がかかってしまうということに疑問を感じます。
309	合理的である。ただし「200点」の重み（妥当性）については不明。政治課題ではなく官僚による合理的な制度づくり（運用）を希望する。

問 11 後期高齢者終末期相談支援料についての意見	
310	相談等は医者として当然のことなので、高額な支援料でなければいいと思います。
311	良い制度であるが、そんなに高く設定する必要はない。
312	相談料の支払は良いと思うが、後期高齢者のみが対象というのはおかしい。年齢制限はなくすべきで誰にも払わない方が良い。
313	あまり死に際にはバタバタしたくないのでたぶん相談しない。
314	導入されることにより格差が生まれぬよう、注意していかねばならないと思います。
315	自分自身がその立場になった場合、医療機関は相談料収入をビジネスと考えて、患者の意志とは別の方向に動かされることもあるかもしれない。
316	治る見込みのない病気が患者の意志を奪ってしまうもの(例えば痴呆症)の場合に、ほんとに患者と医療従事者が話し合いを行ったかどうかを区別することが難しいと思うが、相談支援料を支払うのは基本的には賛成。
317	ケースによって違うと思うので、すべてにどうなのかと思います。
318	医師・病院がお金欲しから料金を取る。医療費が増えて国民保険料も上がり、国民は困る。
319	まだよくわからないので今は何も言えません。
320	いまは後期高齢者終末期相談支援料の意味がわからない。年寄りだけがこの制度を使うのはおかしいあ〜と思う。
321	内容がまだ理解できていないので、何を言っても良いのか迷っています。
322	高齢者の終末期を利用した、医師・医療機関への優遇処置としか思えません。連絡措置が課せられて当然です。一般的なサラリーマンの退職後の生活と医療関係者の生活を見ればいかに医療関係者の所得が高額かわかります…なのになにまだ…。医師を志した人が人を助けることは当たり前前のことです。
323	治療の経過やその後のことの話し合いは医療の一部であるが、そのことと書面にしたらとしても相談支援料を支払うのはいかなるものか。
324	診療の一部で特に相談料として新設される意味が理解できない。
325	双方が今後の方針について話し合いを持つという基本は良いと思うが、反面支援料目的で画一的に行うようにならないか心配な面を感じる。
326	現在では技術という考えは通用しなくなり、後期高齢者も増えて対応しにくくなると思うし、患者側の権利意識も高まってきていると思うので、専門の医療従事者を必要とするのではないかとと思われるから。
327	治る見込みのない病気になるのは高齢者に限ったことではないのに、年齢(制度)で区切るのとはおかしい。終末期医療はまだそれほど設備も整っていないのに病院をたらい回しにされたり、家族が重い負担を負わなければならない現状を変えずに、高齢の方に医療を遠慮させるような風潮を作ってしまう厚労省のあり方には疑問を感じます。
328	病院は儲かることには積極的になるものです。今の厳しい状況で高齢者に支払ったりできないので、いざ自分たちの番が来ます。必要なものは気持良く払うつもりですが、お金持ちばかりではない今の世の中の現状を考えて欲しいと思います。
329	患者中心の医療と、患者さんからの意見を十分に把握して実施することが望ましい。

問 11 後期高齢者終末期相談支援料についての意見	
330	それだけの時間を使っていたら、支援料が導入されてもいいと思います(患者のために十分話し合うことができるようにして欲しい)。
331	最後まで納得のいく治療を受けることができるので、高齢者にとってもその家族にとっても良い制度であると思う。
332	年を決めるなら、治る見込みがないと決め付けるのは家族側としてはどうかと思う。
333	医師が認めるなら75歳以下であっても相談が必要な時は支援料を出して、患者・家族が納得できるようにしたらい。
334	年齢区分なく相談支援料は支払われるべきです。
335	後期高齢者の場合、認知症などの他の疾患の罹患も考えられ、他に関与する医療の増入も考えられるため、終末期と限定しづらいと考えられるから。
336	何でもお金を取ればいいという問題じゃないと思う。
337	後期高齢者保険料制度そのものが理解できません。個人の年金からとはまったくおかしなことだと思います。
338	まだ先の話なのでわからない。
339	高齢者の終末期相談には当然支援すべきである。
340	人間の尊厳に関わる問題を制度化することの難しさがわかっていない。反対である。
341	重い病気の患者の今後の治療方針等を、関係者で話し合うことは重要なことと思う。これに適切な額の相談料を支払うことは当たり前前のことと思う。この相談料支援に年齢制限を設けない方が良く考える。
342	良い制度だと思う。
343	75才以上、終末期の人間から金を取る。金のない人は相談すらできないのか。仮に金を払えば医師は親身になってくれるのか?私にはそうは思わない。中には事務的に終わらせようとする医師も出てくるはず。そんな時に金を払うのは納得いかない。
344	患者の負担が増え、保険料の値上げになると思う。
345	病気が長くなった場合はお世話になり、迷惑もかける支援料はお礼の代わりにもと思います。
346	初めて聞いたことなのでよくわかりません。
347	特別な項目を設けるような事柄ではないと考えるから。そのような状況に対して「説明する」「説明を受ける」というのは当然の医療行為である。
348	何で?と聞かせるか(治る見込みがない)どうかは判断することができず、年齢による対象内・対象外が合理的であるかどうか疑問が残るところです。しかし制度上の先発的な法律として理解しています。今後に期待します。
349	改めて年齢区分けをしないし、今までの治療の流れで対応できないのか。
350	今までは十分な話し合いができていなかったために、できたものなのか?患者や家族と、もめなくて病院を助けるためのものなのか?よくわからないが必要なものに思える。
351	よくわからない。今まで考えたこともなかった。
352	なぜ75才なのでしょう?若くて逆にも逆にも小さく、生活費も大変…という人はいっぱいいると思いますか…?

問 11 後期高齢者終末期相談支援料についての意見	
353	医師は金をもらわないと相談に思えないのか。
354	終末期医療については、75才以前から考えることも必要になってくると思います。75才で区切るのとはどうかと思います。また支援料も重複して取ったりすることのないようにしていただきたいし、内容もあまり深くなくても取る場合もあるし、基準がはっきりしません。医療費は患者ではわからない相談料・指導料などいろいろかかる時もあります。はっきりしない支援料を取った方が良いか判断しにくいです。もう少し点数が低くても良いかと思っています。
355	自分の最後には話し合っただけで納得したいと思うので良いと思う。
356	なぜ対象が75才以上に限られているのかわかりません。
357	どれくらいのお金を負担しなければいけないのか、わからないので何とも言えないですが、自分の病状や最後についてきちんと説明してもらいたいのも大事なことです。
358	終末期の相談については、病状に対する極めて高い見識と人生観を要求される仕事だと思う。見合った報酬を支払うのは当然であり、そのような医療従事者のレベルを高めることが、高齢化の進む我が国の互助ネットワークを深化させる一つの手段だと思う。
359	初めて知りました。200点というのがいくらかは知っていますが、何でもお金に換算するのがイヤです。話し合いはごく普通のことですから。
360	相談することに対しての料金がかかるということに対しては、お医者様にしてもそのための時間を割いて話し合いをされるのだから納得のいくのですが、後期高齢者だけに限るということに賛成できません。いったい何時からこの国は老人を差別するようになってしまったのでしょうか?誰でも年を取ります。これではお金のない老人はやすらかに死ぬこともできないのですか。
361	必要な仕事については対価が支払われるべきである。
362	75歳の十分な生活力のある方はいいですが、生活が苦しい方などは大変だと思う。
363	現在のところはあまり考えていません。
364	後期高齢者をあまりいじめないで欲しい。安心した生活を送れるよう行政の方をお願いします。
365	医師や看護師が相談を受ける時間を作ったから支援料が支払われるのはいいと思う。
366	医療機関では医師の診察をたどる1分受けたとしても健康保険より多額のお金が支払われている。これはおかしいことである。今回の質問も同様な考えから支援料を払おうとしている。従って支払うべきでない。
367	文書などにまとめる必要性を感じません。
368	最後だからこそ医師の意見を聞きたい。それなのに支援料としてお金を負担する。死を直視した人にやっぱり金次第なのか…。
369	後期高齢者になって後は余分な診療などせず、できるだけすらかにしたいと家族も話している。
370	患者の意志やその家族の考えや意志によっていろいろな考えがあると思う。例えば病気が悪化し、意志疎通がなくなった場合はその後楽な状態で楽に死を迎えたいと思う患者の考えを尊重することもあると思う。

問 11 後期高齢者終末期相談支援料についての意見	
371	患者及び家族は終末期のことは不安であり心配です。医療機関より説明を受け、文書を受ければ本人、家族とも安心です。終末期相談支援料がどのくらいなのかから不安です。
372	支援料の発生によって医師一人一人が真剣に取り組んでくれると良いです。
373	自分のことを納得いくまで話し合え、説明を受けられるのはとても良いことだと思いますが、文書にするのに自己負担があるとお金が絡んでくるのはちょっとおかしな感じがします。
374	文書でもらえるのは良いと思うが、相談支援料があまり高いようだ困る。
375	不平等の可能性を含んでいるように感じる(ただ一度でも複数の相談も同じならば)。医療関係者と患者だけでなく第三者的なチェック機関があってもいいのではないかと(支援料を支払うならば)。例えば弁護士や司法書士など。
376	このアンケートをするまで支援料のことは知りませんでした。説明を飲み、病気になる本人は不安、聞き間違いなどが起こるため文書にしておけば落ち着かせて読むことができると思いました。文書にするためには料金が発生するのは仕方がないと思います。ただ遠慮することなく医療従事者に何でも相談できる体制を整えて下さい。
377	我々年寄りにはお医者様!と言えども何でも相談できて自分のことを教えてもらうのに治療以外はお金につながるように一度も思ったことがないで診療証明とか、他医療所への紹介状などは有料と思えば元々見て頂いているお医者さんに相談料などの支払いをするのは?
378	相談支援料の詳しい説明を読んで支払うことにより親身に相談して頂けるのであれば仕方ないのかなと思います。しかし支払いができない人のために何か良いプランができることを望む。
379	自分も治る見込みがない状態になったら話し合いを行いたいと思うから。家族に余計な負担はかけたくないし、無駄な延命治療は望まない。
380	必要なものだと思うが対象が75歳以上でなくてももっと幅広くしてもらえるといい。
381	年齢を限定することはおかしい。個人差の病気なので年齢に関係なく支援料を使えるようにした方がよい。
382	医師、看護師側にも精神的にも時間的にも負担があるので報酬は必要だと思う。
383	なぜ75歳以上なのでしょう?病状は年齢に関係ないものですし、公的医療保険はすべての年齢に対応していると思います。
384	回答になっていないかも知れませんが私の考えを申し上げます。1. 支援料についてはよくわかりません。2. 75歳以上とした年齢設定そのものが不明確です。終末期医療については尊厳死を希望していますが、具体的に注射、点滴などの使用も文書にして欲しいと思っています。
385	治る見込みがないと言えど若い人でもそうなる可能性は多い。高齢者のみに限らず全員を対象にして欲しい。医療機関に1回だけ支払われるとその後再度と持ちかけても医療機関によって「一度話し合ったから!」と応じない所が出てくるのではないかと医療従事者の増員、質の向上に税金が使われて欲しい。また安心して相談できる所、誰でも平等に算定してくれる所に任せられる所を作りたい。



問11 後期高齢者終末期相談支援料についての意見	
461	ニュースなどを見ていると介護保険が本当に困っている人々にはあまり役に立っていないように思われます。終末期相談支援料の相談も余裕のある人は療養の内容もいろいろ選択できるが余裕のない人々はない。ただ本人の意思と家族の温かい見守りだけだと思いますので特別に設ける制度とも思えません。
462	自分の希望を家族にもわかってもらうために終末期について話し合い、医師にも伝えることは良いことだと思う。料金を支払うことも仕方ないかと思う。
463	病院で診断書などの書類を請求する場合も料金を取られているので相談支援料についてお任せがないと思います。算定が1回のみで話し合いは何度でも行えるという点は良いと思います。
464	すごい良いことだと思います。
465	年齢区分を設けること自体がわかりやすい。
466	患者の家族の相談が時間と金額などで差が出てしまう。後期高齢者の患者が自発的な意見を述べる状況はまれなことで、医師や看護師に温かく見守ってもらい判断にお任せした方が家族にとって悔いが残らないと思う。
467	後期高齢者から相談料を取るのはおかしい！家族が支払いのできる人は良いと思うが、一人暮らしの人などは生活がきついのと思う。
468	1回に限り200点なら文書として残すことは確実にされるなら(その後は取られないことも必ず)しっかり話し合ってからしっかり道を選ぶことのできる機会が与えられるのが希望です。
469	このような話し合い、文書作成に相談料という名目で支払わなければならないのは情情的にむなし。理想と現実が違うということか。
470	率直に言ってよくわかりません。
471	自分の病状について医師などと相談またはそれを形に残すことは患者として当然の権利だと思うのでそこに相談料が発生することは好ましくないと思う。75歳以上という年齢で繰引きをする意味はないと思う。
472	細かい点はよくわからないが大筋で賛成できる。形式的にならず人間全体を見る医療であって欲しい。
473	本人と家族の気持ちは違うと思う。自分自身も覚悟を決めて身の回りの整理をしたい。家族は患者に関わる経費や最後の希望をできるだけかたくなで取り去りしておきたいと思うだろう。
474	近頃は医師不足で問題の多い時代に本アンケートのように書面で各人に適した対処方法を書く医療機関があるとは思えない。病名でありきたりの印刷物を配るのが関の山であると思う。その程度で治療費以外に料金を取る。人の顔が皆異なるように各人の終末も異なると思うが、それぞれに対処できると思わない。
475	お金を支払わなくては十分な相談や治療を受けられないからやはり家族としてはやむを得ない。無料やなる内容の不十分さや医師達の負担にもなる。やっぱり仕方ないことだと思う。
476	費用などが重なるため。
477	75歳以上の区分が限定されていることのが正当な理由がわからない。すべての人に支払われるものなので平等かつ公平な法であって欲しい。

問11 後期高齢者終末期相談支援料についての意見	
478	制度として妥当なものと思われる。
479	後期高齢者の方は収入の面でも厳しいと思います。少しでも安く治療相談が受けられるのが好ましいと思います。
480	病状で治る見込みのない状況となった場合、年齢に関係なく欲しい。例えば植物人間になってしまったりした場合、本人の意思では生きていけると思えないので殺人罪になることがないよう延命装置を外すことができるよう願いたい。
481	男女一律の年齢区分である点を考慮すると適当な時期での(相談料の)決め方と思う。
482	相談支援料を医療保険から支払われるのは75歳以上でなく、80才以上とかにすれば良い。但し現在保険料から支払うのは反対だ。
483	それで良いと思う。
484	年齢に関係なく相談に乗るべきだと思う。
485	終末を迎えた患者、世話をした家族に苦痛の感謝をして頂くという事です。
486	診療料と同じように料金が発生するのは特に問題はないと思うが、それが高齢者のみという理由がよくわからない。
487	告知は必要ですが負担にならないような金額であれば支払いが可能だとは思いますが。高すぎたり経済的、生活上に困難な場合もあるので必ず支払いができるかは難しいと思う。
488	ケースバイケースでもっとしなやかであって欲しいです。自然の流れでありたい！自分の力で食事が取れなかったりしたら私は私のままを選びます。
489	病気で死亡される方は年齢に関係ないと思われる。よって重い病状と認められた患者さんにも全員相談料を取って治療方法などを決めた方が良いと思われる。
490	75歳前であっても治る見込みのない病状の人でも大勢おられますし、病人に関係ある人達が十分に話し合うことが大切であり文書に書いても人それぞれで病状がどう変わるかわかりませんのにその都度話し合っ相談料はいいとは思いません。
491	年齢が必要ではなく若い人でも終末期を相談してもらおうことが大事であり、特にまだ十分働ける世代であれば残る家族の生活も大切にいか相談する上で支援料を支給して十分な話し合いへの補助として欲しい。だから年齢が75歳以上に対してはおかしい。
492	年齢で区切らず必要とする患者をすべて対象とする。文書化することによって人生の区切りがはっきりする。患者の考えを優先することを明文化する。
493	相談は患者本人だけでなく医療関係者のためにも必要なことだと思います。なのでそこで相談料というものを取るのは違うんじゃないかなと思います。
494	考えはいろいろありますが、すでに決まっていることなので何を言っても変わらず。
495	年齢に関係なく必要人にはすべきだと思う。
496	自分の寿命は80才くらいだと思うので望む人は支援料を払い、望まない人は払う必要がないと思うので自分の意思でどちらか選ぶようにすればいいと思う。治る見込みがない、若い時みたいに治らないので無駄な治療はやめるべきだと思っている。10年もしたら高齢者が増えるので年齢区分は必要だと思う。

問11 後期高齢者終末期相談支援料についての意見	
497	話し合いが行われその内容を文書してくれるのはいいと思うが、相談料が発生するのは少し納得できない部分もある。
498	あまりいいとは思わない。
499	終末期の患者の家族にとっては助かる(治療費)でしようが、もしそのため保険料の支払いが多くなっても困るのですが「後期高齢者支援料」が75歳以上の方の全体でだけ利用されているのかその点も気になる。
500	患者と医療関係者が良い方向に向かって話し合うにあたって金額が発生するのが何とも思えない気がしますが。本当に親身になって考えて下さる方もあれば、報酬のための病院も起るはず。患者のためのミーティングに時間をかけている所には当然必要だと思うし、何で？という病院に支援料が払われるのは我慢ができません。
501	私が患者だとしたら相談に乗って欲しいと思うから。
502	介護などの必要性を家族全員(親族)が理解できる。
503	弱者に対してまたお年寄り、年金生活のやりくりの中のお金を請求することは好ましくないと思うので年齢制限は良くない！
504	治る見込みのない病状にどんどんお金を使うのは自分としてはちょっと考えてしまいます。それによってお金が足りないというのであれば、自分としては延命は望みませんが、それを確認すると医師にお金が支払われるというのはちょっと違和感があります。
505	終末期を迎える際に医師と十分な話し合いの場を持ち、文書として互いの確認を取れることは好ましいと思う。現場にあたる医師などには当然ながら文書作成の事務的作業に専念してしまわないように気を付けてもらいたい。
506	大変良いと思います。高齢者が病状になると大勢の方に迷惑をかけます。
507	型にはめて機械的に進めていかれそうなのが。相談するにしても依頼できる医師や看護師でない自分の意思を伝えることは難しいと思う(確認のために文書を作ることはいいと思うが)。形だけの料金表として文書を作り、支援料を払うのは患者にとって好ましくないと思う。相談の内容は1つだけではないと思うので一律に200点とするのも大層すぎると思う。
508	支援料の制度は当然と思われるが文書などで提供した場合のみ支払われ、文書の提供がない場合は支払われないのが不可解。75歳未満でもこの制度は必要かと思います。
509	妥当な考え方だと思います。
510	今の75歳というのは昔と違いとても苦しいです。80才以上で良いのでは、相談支援料というものがいくらなのかわかりたい。もし高額ならおかし。金額が不透明。これからの日本は高齢者の国になっていく。支援料なるものどこから持って来るのか。
511	話し合っ文書にするというのは医師などの仕事の一つではないかなあと思う。75歳以上の方はお金が少ないと世間で言われているのにこれ以上取るのかと残念に思う。
512	高齢者の場合家族を支えて再度話し合いとなった時、相談支援料がある程度かかるのは仕方ないと思う。でも基本的には治療上においての説明、話し合いにお金がかかるのは好ましくない。相談はある程度必要だとは思いますがその時の病状や気持ちの持ち方によって変わることもあると思うし、「文書提供を行った場合」と限るのは何となくスッキリしないものを感じる。

問11 後期高齢者終末期相談支援料についての意見	
514	必要ない。
515	家族も本人も安心して相談できるようになると思う。料金が払われているなら詳しく相談できる。医師も力を入れて取り組むようになっていって欲しいと思う。
516	現在の医療、介護現場とても忙しくて人手不足だと聞いております。その割には報酬が少ないので辞めていく人も多くも聞いております。安心、安定した老後過ごすためには多くのスタッフが安心です。報酬が増えればスタッフも辞めていかないと思うからです。
517	意識のあるうちに延命治療の要、不要など話し合いのしるし制度だと思えます。それに伴う費用を支援するのは当然良いことだと思います。
518	後期高齢者より50代60代の方に必要はないでしょうか。75歳以上の方の症状進行は遅いでしょうし。
519	お年寄りからお金を取るのは良くない。
520	相談支援料はサービスにすべき。
521	終末期延命治療を必要としないのははっきりと責任を持つため。
522	話し合いは良いと思いますが、算定も1回のみでなくもう少し回数を増やしてもいいのではと思います。
523	後期高齢者は最後まで生活支援、病状など納得のいくよう話し合いをして欲しい。
524	治る見込みのない人達については無料でも良いのでは？
525	病院で終末期を迎えることより自分の好きな所で自由に最後を迎えたい人が多いのいいと思います。そのために必要な知識も家族の心得もできるし。支援料があればいいと思います。
526	高齢になるにつれて、頼る身内がないなどの問題や金銭的な問題が多くなるのはわかるけど、若い世代がこれから高齢になった時には賛成とは言えない部分が出てくる(公的医療保険料)。下の世代も支援してあげるようにして欲しい。
527	金を取ることでちゃんと話してくれるならそれもアリかと思えます。
528	医師の説明に対してお金が出るというのがまずおかしい。この制度はない方がよい。制度が始まったら不正受け取りとかが増加するだろうし、医師への不信感がより高まるきっかけになりかねない。
529	強制ではないこと一回のみの算定ということでは患者の負担は大きくないと思う。病院を移った場合の内容の変更は容易なことを確保して欲しい。75歳以上のみというのはなぜ？
530	賛成します。しかし費用については言えない部分が出てくる(公的医療保険料)。
531	厳密な統計はよく知りませんが友人、知人が平均的にこの年齢(75歳)に「相談支援料」が必要のように思っています。人生のラストコースにこれらに支援料が出されてしかるべきだと思います。それがための保険料だと思います。家族にとってもいいことでしょう。
532	75歳以上の人が対象になるのはおかしいと思う。重い病状、治る見込みがない病状になる人は子供でも若い人でもたくさんいると思うので、皆同じにすることが当たり前だと思う。
533	支援料の支払いで最後まで命の尊厳を守りたい。
534	逆に75歳以上については優遇として無料にしてほしいのでは？
535	家族や親類の相談に乗ってほしい。

問 11 後期高齢者終末期相談支援料についての意見	
536	考慮するも難しく、死ぬのも大変だと感じた。
537	治る見込みがない状況となった患者さんに対し終末期の相談を行うことはとても大切なことだと思います。患者さんや家族にとって支援料が支払われるのは必要なことだと思いますが、病院からの不正請求などには十分気を付けて欲しいと思います。
538	後期高齢にこだわらず終末期の相談支援が公的に行われたらいいと思う。
539	75歳でもまだまだ若い人も多い時代に編みきをするのは自分がその年になった時に生きている意欲をなくしてしまおうとやめて頂きたいです。取るのであれば全員から取って頂きたいです。
540	話し合い、文章の取りまとめに料金がかかってくるのがいまいち理解できません。
541	年金も不安定なこれからの時代に収入もなく75歳という高齢で終末期を財政状況で左右されてしまうのはかと思う。
542	本当に患者の家族のために制度なのか…理解しにくいところがある。ただ医療従事者への支援だけになってしまわないようにすべき。
543	年齢限定、以外、参考説明の内容を支持する。終末期は年齢に関係なく訪れる。支援料の「200点」は高いのか、安いのか、その根拠は？判断不能。凍結措置の理由は？不明。
544	支援料導入により、保険料が高くなったり、75才以下の人達に負担がかかれば不満である。
545	できれば家族だけで話し合いたいので、「支援料」は元々必要ないと思う。
546	対象年齢からして、本人に判断できないケースもありえる。延命としての治療にかかるものかどうかと思う。
547	お金をとるのであれば患者、家族が納得するまで十分に話し合えるようにして欲しい。
548	後期と分ける理由は？他の年齢ではそういったものがあるのかわからない。もしあれば、「後期…」と区別して他の年齢のそういったものに比べ、安いのなら（リスクが高いのか）かとは思いますが、ただ、話し合いや文章等事務的に受け入れられるのかわかりません。心の準備だけで一杯では…。
549	凍結措置はともいいたくない。
550	年齢差別は好ましくない。
551	あることさえ知らなかった。
552	このアンケートで初めて知りました。知らない人の方が、多いと思います。何で75歳以上の年齢限定なのか、わかりません。若くても終末期を迎える人はいるのに。
553	どのような内容かわからないけど、しっかりした書類ならばそれなりの料金を払う必要があるかもしれないが、治療費の一部として含まれても良いと思う。
554	必要ないと思う。
555	年齢区分を設定することに問題があると思う。特に高齢者は個人の生活や仕事、家族関係などで同じ年齢であっても虚弱であったり10年以上若いような生活、身体、精神を維持できたりする人がいて、個人差が若年層より広がるように思えます。よって、一律に75歳以上で編みきすることは難しく、意味をあまり持たないように思います。50代からも将来に不安を持つ弱い者が助けを求めるケースもあると思います。

問 11 後期高齢者終末期相談支援料についての意見	
556	相談を治療として考えることはおかしいとは思いますが、それに対する支援料の発生は納得いくものではないように思います。
557	国が全額支払うべきだ。
558	患者に対して話し合いを行い、アドバイスすることは賛成です。問題は支援料の内容だと考えます。国民に対して細かな支援料内容を発表し、毎月ごとにどれだけの支援料、経費が使われたか、明確にし、対象者以外にも国民に発表する必要があるかと思っています。医師不足の現状は、自分でも深刻だと思いますが、不正に悪用されないよう管理体制を徹底して欲しいと考えます。
559	本来あるべき医師の仕事が失われ、患者へのいたわりや人格の尊厳がなくなってしまうように思われる。最後の時を迎えるに当たり、国の為に頑張った人達のことを役人の考えで行うべきではないと考えます。
560	終末期相談支援料については全く知りませんでした。必要だと思うが、それが何故後期高齢者と言われる年齢なのか、理解できません。また、報酬は払うべきと思うが、高額であってはならないと思います。
561	良いと思います（相談の仕方がちょっとわかりづらいです）。
562	主人も私も自然体を望んでいますので、病状の変化も説明も必要ない（75歳に近い年齢に近い）。
563	相談や話し合いだけでなくその場で終わるので、支払うことはないと思うが、文章等にまとめるのには医師も時間を割かないといけないので、支払った方がいいと思います。年齢により、対象者を決めるのではなく、支払い能力があるなしとか家族とか人それぞれなどで年関係ないと思う。また、医療費はもう少し安くして。初診料が高い。医師のレベルによって医療費も変えるべきだと思う。
564	75歳以上で編みき理由がよくわからない。相談支援自体は必要かと思う。
565	相談によって下される医師や看護師の方の時間を頂くことに対して医師不足が言われる中、相応の料金を払うことによって医師不足が解消されるのなら、素晴らしいことですが、基準の甘さから、不正処理が横行する気がしてなりません。
566	医療介護関係者としての意識、責任感の養成になると思う。
567	年齢制限ではなく、所得に応じて相談料を決めるべきだと思う。但し、無料ではなく、有料で互いに理解できるようになると思います。
568	何故75歳という年齢制限ができたのか疑問である。人によっては75歳に達してなくても希望する人もいられるであろう。私はまだその対象年齢に達していないが、もし治る見込みがない病状になれば、相談したいと思うし、このアンケートを記入して初めてこのようなものがあることを知った。もっと広く情報開示して欲しい。
569	治療を受ける患者は平等であって、年齢によって区別するべきではないと考えます。
570	後期終末期相談支援料という言葉は初めて知りましたので、よくわかりません。
571	丁寧に真剣に取組んでくれるのなら支援料も仕方ないかと思う。
572	75才と年齢を区切ってしまうのは、おかしいと思う。

問 11 後期高齢者終末期相談支援料についての意見	
573	実際の医療の現場ではこのような話し合いは行われていないのでしょうか？このような支援料がなければ話し合いの場を待ってもらえない現状であるとしたら悲しいですね！このような支援料があるなしに関わらずこのような話し合いは必要ではないでしょうか。
574	どうして相談支援料を75才以上にしぼるのか理解できない。全ての患者に適用すべき。医療者は忙しい中説明に時間をかける訳で、仕事の一部だから。
575	後期高齢者のみと対象するのはどうかと思う。終末期は年齢に関係なくあるもので、むしろ若年者や壮年～初老期の方々の方がインフォームドコンセント等の話し合いは必要であると思う。相談支援料を導入するのなら、対象者は全ての人にするべきだと思う。治療方針や、病状説明は必ず行うものである為、わざわざ点数を付けなくてもいいのではないかとと思うが、医師不足、赤字経営で病院存続が難しくなる後には必要とされるかもしれないが、導入するならば全ての人が対象の方がいいと思う。
576	年齢ではなく、全ての末期患者にあるべきだと思う。
577	家族の為に良いと思う。
578	遺族年金生活者ですので、必要だと思います。
579	「後期…」のことを聞くのは初めてであったということが、まず反省です。新聞を読んだりしなければいけないなと思いました。何故75才以上なのか、疑問です。さっぱりわからない。年齢は関係ないのではないかとこの制度がないと、終末期の相談をしてもらえないのか。そこも疑問。
580	終末期相談支援料があるということをご調査表を読み、初めて知りました。相談料として支払うのは当然と思います。高齢者とは限らず。
581	年が経つにつれて高齢者の数が増えていくと思う。75才にもなると、年金暮らしで経済的にも肉体的にも精神的にも苦しくなっていくだろう。昔ほど子供の数も多くなってきたら1～3人であろう。あてになるのは年をとったらお金になると思う。75才にもなると、アルバイトもない。
582	支援料についてそれに見合った話し合いが十分に行われることを望みます。今後、こういった制度を悪用したり、不正に利用したりすることがあった場合、対応策は十分なのでしょう。
583	自分自身も少しも病状がわかるといいますので「貴方はもう生きる望みがない」と決定されたら、病状と「たまたま」ことができない気がします。料金を支払うと強制的に期限を決められ、決定しなければならず、耐えられる心配です。
584	何の為に支払うのかわからない。何故年齢制限を設けてまでお金を取る必要があるのか。当然の医療行為ではないのか？尋ねたい事はたくさんあるが、相談料がいるのならやめておこうということになるのか。文書料（現診書等も含め）にしても何故お金がかかるのかわからない。
585	治る見込みがない患者と医師との終末期医療についての話し合いは十分な話し合いは必要だと思いますが、相談料は要らないと思います。
586	残された家族に負担にならないように希望する。
587	相談料として支払わなければ医師や看護師は動かないのか、と思う。患者という時点で、話し合いや入院中のケアをするのは当たり前なことではないのかと思う。

問 11 後期高齢者終末期相談支援料についての意見	
588	受け取ることによって責任が重くなり、偽装を言った場合許容になる。
589	文章で表してもらえれば良いことだと思いますが、金額によると思う。
590	具体的な内容はよく知りませんが、医師・看護師、その他の医療従事者と誰と話し合っても、どんな形でも、同じ報酬がもらえるとしたら、手抜きみたいなことが起きないか少し心配です。
591	後期高齢者医療費も収入が少ない者にとつてひどいと思います。ので、終末期相談料についても同じく反対です。収入の少ない者にとつてもう少し温かい医療であって欲しいと思います。
592	医師と患者が話し合いをして、その後の療養について患者の理解を得る為に是非行ってもらいたい支援料だと思う。患者も家族も今後の病状の変化に対処するよりどころになり、安心できると思うので、支援料は支払われるべきである。
593	当然だと思う。
594	必ず最期は来ることで、その時の相談話し合いに対して別料金がかかるということは反対です。おかしいと思います。文章にまとめて医療訴訟の対策の為に残す為ではと考えられるので問題をなくす意味では必要かとも思います。
595	200点が幾らかわからず、上手に回答できず申し訳ありません。今回初めてこのような中身を知りました。行政に頼らず、自分自身でも多くのことを理解して、深めていかねばと感じました。
596	ケースバイケースで必ずしも最善の結果が得られるか疑問が残るが、気持ちの面で多少でも楽になればと思う。
597	相談は一般的治療の内のはず。特別に枠を設けるのはおかしい。
598	先にも書いたが、仕事として当然の報酬である。
599	終末期相談支援料は妥当ですが、後期高齢者という年齢区分には反対です。
600	治る見込みがない状況の時、本人はもちろん、家族も不安を抱えると思います。医師や看護師の適切な対応、説明はとても必要なことだと思います。末期のガン患者を受け入れるホスピスを増やして頂けるように要望します。支援料はできるだけ安価に抑えて頂けるといいと思います。
601	病気に年齢は関係ないと思う。
602	75才になって頭脳明晰ならばそれも必要な？医師が忙しすぎて患者とゆっくり話す時間がないので、相談支援料なるもので患者との接点が多くなって良いかな？
603	治る見込みがないのであれば、病院ではなく田舎の自宅で療養したい等の意見（希望）もあると考えます。患者の意志を尊重することは良いことだと思います。但し、文章に残す記録に伸すことは必要なのか疑問です。医師の信頼関係の中で話し合いの範囲が良いのでは？また、年齢の設定は75歳は高すぎたとも考えます。70歳とか、65歳以上でよいのでは？
604	1.話し合いの内容を取りまとめ文書化する必要があるのか、お互いの信頼関係の問題なのか。2.文章化すると相談支援料はどのくらいか？
605	私自身がその立場になってみないとわかりませんが、誰もなりたくてそうならたわけではないので、家族も共に相談することも治療も十分な理解が得られるかもしれないし、年齢の制限は別としてあった方がよいように思います。

問11 後期高齢者終末期相談支援料についての意見	
606	国民年金等での支払が可能な範囲なら良いと思う。
607	4月～支援料が導入されたことは知りませんでした。治療を受けているのに支援料を支払わなければ、何も教えられないということですか？相談しないと治療もおろそかにされそう。勝手に死ぬのを待てること？
608	相談のために医師や看護師に時間を空けて頂くのですから、相談料は支払われるべきで、200点は変か？
609	医師と患者の間に十分な信頼としっかりした親密な関係があれば大変良いと思いますが、事務的だったらどんなものかと思えます。
610	年齢を75才以上と区分することは変な気がします。
611	75歳以上ではなく、全ての人を対象にした方が良いと思う。若い人ほど家庭のことや金銭面等今後のことで不安が多いと思う。
612	むやみに延命するよりは良いと思う。
613	75歳以下でも思い病気の人はいるので、75歳以上に限定するのはちょっとおかしいと思います。患者の病状についての話し合いは医師がする前日の仕事だと思うので、改めて支援料を支払う必要はないと思います。
614	何故75歳以上対象なのか分からない。重い病氣、治る見込みがない状況の話し合いを対象とするなら、尊厳死も認めた上で後期高齢者終末期相談支援料なら納得できます。
615	最近は一暮らしの老人が増加し、子供も近くに住んでいないケースが多く、末期の患者にとっては心のケアを含めて、相談支援は不可欠であると思う。
616	終末期支援は年齢に関わらず、同じだと思う。年齢によって支援料の差が生じるのは納得できない。
617	終末期にその後の方針等を、本人、家族、医療関係者等が話し合うことを希望する人がいたり、話し合えばいいのではないのでしょうか。ただ、話し合いの場がもたれることで、自分が終末期だと知ってしまうのは怖いような。でも、知りたいような気がする。本当に大事なことを丁寧に話し合ったのなら相談料が発生するのは仕方ないことかもしれない。ただ、医療機関は終末期の人全てに機械的にいいような気がする。
618	専門的な情報を有料で提供することはまだ日本文化には馴染まないかもしれないが、時間と労力がかかることなので、仕方がない。
619	あることは知らなかったです。まだその年(年齢)になっていないので、深く考えたことがなく、先生とそのようなことはよく話し合っているお互いの為にも良いことだと思います。
620	医学が全くわからない私達にとって後期高齢者終末期相談といっても患者も家族も医師、医療従事者に従うしかないと思うし、本当にその家族と患者の気持ちになってできるかと思えます。この制度がただの制度で終わって欲しくありません(文庫に残すだけという意味ではない)。
621	75歳以上に限り、自己負担がないということなのでしょーうか？だとしたら、対象者の数が年齢的に見て、かなり少ないと思われるので年齢に関係なく自己負担をかくして欲しいです。75歳以上に限定する意味がわかりません。

問11 後期高齢者終末期相談支援料についての意見	
622	これから、ますます老人社会となり、入院、入所できるところが少なく自分たちだけでは(家族)決められない。専門の人に相談できるとすごく良い。
623	その時になってみないと今の時点では自分になっていないのでわからない。
624	厭くないものと考えます。70才、65才の時にこの制度を利用できないので、不平等が生まれてくると思います。よて、75才以上の枠がない方が良いと思います。
625	支援料はとも良いことですが、75歳以上に限定してしまうのは良くない。生活が苦しいのはみんな一緒です。
626	病状を家族が理解することにより、対策を考えやすい。
627	治る見込みのない重い病状は生まれて死ぬまで若くして訪れるので、このことに関しては後期高齢者に限ってとするのはおかしいと考えます。
628	終末期相談となるともう先もないのだから相談支援料を払う必要はないように思う。
629	話し合いを持つことは良いと思う。それに対して相談料が診療費の一部として支払うことが悪いとは思いますが、その支払いの年齢を75歳以上と年齢区分を決めるのは妥当とは思わない。それなら何歳が妥当なのか問われたところで、妥当の年齢がすぐには思い浮かびませんが。
630	入院その他でお金がかかるのに相談しただけでまたお金が必要なのは困ります。
631	本来であるならば治る見込みがなくてもその後の病状や変化等は知る権利があり、当然のことと思いますが、その内容を文書にまとめた場合、料金が発生しても致し方ないことなのかなと思います。
632	病状説明や支援は治療の一環と考える。
633	終末期相談は誰にでも起こることなので、後期高齢者を区別するのはおかしい。
634	若くして末期を迎える方のケアも考えるべき。
635	年齢を区切った上で相談支援料がどうして設定されるのか、わからない。後期高齢者といわれる人のみというのはどうですか。
636	75歳以上に限定すべきではないと思います。とは言うものの、年齢区分を設けないといけないと思います。私としては60才以上であれば終末期を迎えている患者を対象としても良いのではと考えます。
637	75歳以上なら尚更本人と家族、介護者にそれらを行うことは当たり前と考えます。そこに支援料と名の付いた料金が発生するのは、とても不思議なことと考えます。
638	医師と患者が話し合いを行うことは、当たり前のこと。相談料が支払われるのは、おかしい。
639	その時点にならないとわからない。
640	後期高齢者終末期相談支援料について知らなかった。
641	一定の時間、点検等を医療従事者に割ってもらう為、その費用を払うのは問題ないと思う。但し、年齢に関わらず、終末期となる患者はいる訳で、そのような人の立場に立つと同様の支援を望むだろうと思う。
642	医療保険から支払われるという事はどうかと思えます。まして、患者さんが一部負担等もつての他です。医療ミス等が起る時代、色々相談して文書にしておくことは良いことだと思うが、それに対する料金は別に支払わなくて良いのではないですか。

問11 後期高齢者終末期相談支援料についての意見	
643	年齢なことについては再考を思いますが、支援料は当然だと思っています。
644	支援料を支払うことで患者が相談しやすいかなと思います。
645	金額によりますが、多少なら支援料を支払ってもいいかな？
646	話し合いはカルテに基づいて意思と患者の話し合いであるから、医療行為の一部である。従って診療報酬に含めるべき。
647	支援料という表現は好ましくない。「後期高齢者終末期医療相談料」では！
648	自分が高齢者になったときの医療費が今よりもあがるんじゃないかと不安になる。相談に対する知識の提供力、時間を割いているので、そこに費用が発生するのは仕方ないと思う。必要がない人は相談しないと思うので、必要と思う人がお金を払ってでも文書を残したい等を希望すると思うので、当たり前と思う。
649	75歳で区別することがおかしい。相談支援料そのものも上記の通り(業務の環)おかしい。
650	認識がなかった為改めて勉強をしてみたいです。
651	重い病氣などで治る見込みがない状況となった時、十分に家族、医師や看護師が、生命維持を命じられた人にはやはり時間を割いて相談された方々なので、支援料は支払って欲しい。
652	私にも書きましたように、何故この際になってお金を取るのかばかり考えるのですが、私はこんな制度にガッカリです。医療保険からやめさせてもらいたいです。
653	もうすぐ(あと2年)75才になります。後期高齢者終末期相談支援料は取られくない。
654	相談料を払うのは何だか経済的に負担があって嫌だが(治療費にお金がかかる為)、1回限りで何度も相談できるのなら良いのではとも思う。しかし、負担金額による。
655	後期高齢者医療制度そのものに反対である。何故75歳以上とするのか？制度そのものを見直していただき安心して人生の花道を飾れるようにして欲しい。死んでいく人間に対して、終末期相談支援料を取るなんてことはもってのほかだと思う。
656	相談料はあっていいと思うが、金額にもよる。
657	終末期はその人の最期の生きざままで、もっとも大切な時であり、それを処方される医療関係も真実そのものなので、相談料の支払いは当然だと思います。
658	重い病氣や治る見込みがない状況になって、その後の過ごし方を心配するのは高齢者よりも若年者の方だと思うので、年齢区分は必要ないと思います。しかし、全ての相談者対象でも、予算的なこともあると思うので、難しいことだと思うが…
659	今後更に高齢化が進む中、医療機関との相談は必須であり、こうした制度は必要と思う。
660	仕方がないですね、残念だけど
661	支援するのはいいが、保険料が上がるのではないかと心配です
662	カウンセラーの類と同じようなものだと思うが、薬や治療ではないことへの報酬は必要だと考える(特に回復の見込みがない場合はこちらの方がより大事)。
663	どの年代でも起こりうることだと思うので、年齢を区別するのはいいとは思いますが、
664	終末期を迎えるのに相談は必要だけれど、相談料を取るのにはまだ疑問が残ります。
665	年齢区分が問題ではないか。後期高齢者を75歳と決めるのが良くないのでは

問11 後期高齢者終末期相談支援料についての意見	
667	各病院の付加サービスとしてしっかり、料金設定して行く方向で進めていけば良いのでは？と思います。しっかりと知識、覚悟をお持ちの後期高齢者には、不要なのではないでしょうか？
668	75歳以上で末期だといわれた人に負担をしろというのは、どうなのでしょう。死を直前にして「お金」と言うのは、家族の気持ちを考えると心が痛むと思います。
669	労働に対して料金が発生するのは、仕方がないことだと思うが、相談料という別料金のような感じがして、医療の一環として含まれるものであって欲しい。
670	後期高齢者という言葉も問題だし、まして終末期という言葉もショックです。年齢に関係なく相談支援を行い支援料を支払えばいいと思います。
671	今まで「生命の助けてきた人」としては、支援料とかの料金まで考えさせられるのは酷だと思います。
672	終末期の患者が診療に対して医師と話し合いを持ち、それを文書としてまとめていることにはおおむね同意できます。しかし、万人がその機会を得ているわけではない以上、公的機関よりの出費が妥当であるのは、大きな疑問であると考えます。
673	高齢者に限るべきではないと思います。
674	200点とは、具体的に料金としての実感が無い。一部負担(対象者)はどのくらいになるのか、…不明であり、アンケートに答えにくい面があると思います。
675	私自身がまだ30代なので、今一歩と来ません。75才以上の方なら、尚更わかりづらいような気がします。また導入されることすら知らない方もいるのでは？
676	支払うのは当然だと思う。文書等の提供をお願いしたのだから、相談料として一部支払うのは当然だと思う。
677	治る見込みがない場合、心のケアが一番大切になってくると思います。医師や看護師との話し合いの中で、気持ちが救われる部分が多いと思います。それに対して、診療報酬が発生するのは、当然のことと思います。
678	納得のいく話し合いができるなら、払っても良いと思う。
679	情報に感謝します。認識不足故に差し当たり意見は思いつきません。しかし、いつか親族に起こり得ることだと思いますので、自分の考えを考慮したいと思います。
680	治療しても無意味だから、死を選べという方向へ考えを家族や患者本人に傾け付けるのは良くない。
681	退職した後の生活が、変化した後、少しでも負担を減らすことができ、安心して最後まで相談をすることができるのは望ましい。75才という点では、70才が望ましい。
682	算定は1回のみ、話し合いは何度でも変更可能ということだし、急変の対応にも応じてくれることなので、賛成です。
683	高齢者が増加している現在、後期高齢者終末期相談支援料は当然行われるべき1つだと思います。
684	支援料を支払わなくては相談できないのは、どうかと思うが、自分が利用するかはその時点にならないとわからない。

問 11 後期高齢者終末期相談支援料についての意見	
685	現在、医師不足がテレビの画面をにぎわしている。嫌な言葉だが、患者のたらい回し等、平和に一生を終わりたいと願っている者にとって次々と不安な情報が耳に飛び込み、精神的な圧力を感じている。生まれてくる新しい生命にとっても消えていく後期高齢者にとっても平等に不安のない社会になって欲しいと切に念じている。
686	病院側の一方的な押し付けでなく、患者、家族側としては相談、話し合いができることは良いことです。
687	終末期相談支援料というのが何故75才以上の後期高齢者のみに必要かわからない。
688	いらん!! おかしい
689	国に負担して頂きたいです。家族や子供に負担をかけたくないです。
690	どうして後期高齢者のみを対象とするのでしょうか? 治る見込みがないと宣告される人は後期の方ばかりではありません。むしろ若い人の方が深刻な悩みや不安を抱えているのではないのでしょうか。また、相談支援料の算定は必要ないと思います。算定の項目を増やす必要があるのでしょうか。診療内に日々少しずつ説明指導を行うようにすればいいと思います。
691	終末期に関する話し合いも医療であると考えられるのなら、支援料が支払われても良いと思う。
692	医師は患者の病状を見て家族に話しをするのは当たり前のことと思います。その為の料金を支払うのは妥当ではないと思います。
693	相談(話し合い)は充分にしていると思うが、お金の負担はなくていいと思う。
694	生活や病状に応じて多少はやむを得ない。
695	高齢者より若いうちにガンなどで終末期を迎える人の方がもっと相談の必要があるような気がします。
696	お金がない人は、この後期高齢者終末期相談支援料が受けられないということになるが、その辺の差別が出ると思う。病院のベッド数や医師の人数や病院維持の問題があるが、もっと増やして欲しい。この先病人も家族も不安がある。
697	医師等も業として行うので、支援料が支払われるのは、当然と思う。患者等の立場とすれば無償の相談程しづらいものはないと思う。医師は報酬を受け取るのだから、気の済むまで相談ができるようになると思う。
698	治る見込みがない状況であっても本人が希望する限り命ある限り延命措置をした方がいいと思う。
699	話し合いは絶対に必要なことなのでお金が絡むのか? その相談を受けるのも形にするのも医師の義務。何でもお金とくっつけるから不正等が増える。病院に勤めていたから知っている。
700	終末期の迎え方を家族と本人、医療提供者が共有することは有意義で、ムダな延命治療が減ると思われる。しかし、年齢区分の必要はないと思う。
701	現物のニーズに合わせた考え方がいいと思う。自分の行動を他人のせいにする等、人間性が問われる近頃、必要なかな?

問 11 後期高齢者終末期相談支援料についての意見	
702	生物は必ず死を迎えますが、何故日本の後期高齢者の終末期にだけ相談支援料を支払うのか、この高期的な考えに変な意図を感じます。そもそも重い病気にかかった場合、治療について相談したり説明したりするのは患者の年齢のよって区別すべきものではない筈です。支払うなら一律に何年度でも。
703	患者、家族に良い結果になれば賛成。
704	今は充分とは言えない年金だけで、過ごしているの、そんなにお金も払えない。子供達も苦しい生活の中お金を出すのは大変だと思う。国が相談支援料を出してもらったらと思う。
705	治療行為は患者と医師等との共同作業であり、それについて話し合いを行うのは当然のことである。これは、本能的に病気の重さ及び患者の年齢に関わることでないと思うので、支援料は必要なものである。但し、その点数に換算の余地あり。
706	診療費用一部負担→負担率次第と考える。
707	一番問題なのは、医師、看護師、医療従事者がどれ程の人間であるのか、人生経験、他人を思いやる心、様々なものを十分理解できる人が理想であって、学歴、社会的立場が上の人間ということではなく関係ないのであって、本当に患者の身になって相談できる人であることが望まれていると思います。医療従事者に関係なく選ばれた人との相談であるなら相談支援料を支払うことについては賛成します。ただし、患者本人が相談を希望すればですが、内容が求めている方向からずれてしまったかもしれません、すいません。
708	相談支援料は報酬としてはまず、200点は廃止すべき。
709	話し合いや文書等の提供等は、治療、医療の一環だと考えます。なので、相談料を支払うという考え方がわからない。
710	医師や看護師、その他の医療従事者が患者及びその家族と共に理解を得る為に話し合いを行うことは、文書等にまとめて提供するとしても何もかも金というのは淋しいんだと思います。
711	年齢区分しない末期相談支援料が良い。人は75才以上生きられるとは限らない。
712	実際にその時になってみないとよくわからないが、充分な相談をした上で、適切な答が出せるならば、もちろん費用を支払っても良いと思う。現実には難しいとは思いますが。
713	お金の無い人はいいけれど、重い病気で治る見込みがない状況なら私なら後者終末期相談支援料なんてない。
714	初めて聞く言葉でした。年齢に関係なく重い病気になる人達、子供等も居るので、限定しなくても良いのかと思います。
715	支援料が支払うことのできる後期高齢者はいいけれども、支払う能力のない高齢者と家族は希望してどうなるのかと考えます。
716	かけがえのない一人一人を大切にす意味で、相談する方にも相談される方にも、後期終末期相談支援料は必要だと思う。そして、問9にあるように年齢により対象者を定めるべきでないと思う。
717	後期高齢者終末期相談支援料があるなんて初めて知りました。75歳以上になると、お金がないと生きていくのが難しくなるんですね。
718	後期高齢者と限定しない方がいいと思います。

問 11 後期高齢者終末期相談支援料についての意見	
719	内容としては良いことであると思うが、医療費の一部負担については低所得者への配慮が必要ではないかと思う。
720	失礼ではないだろうか。
721	年齢区分が設けられていることの意味が見出せない。なぜこのようになったのか経緯を知りたい。
722	終末期相談支援料としての考え方や内容については賛成できるが、凍結されている現在政治家レベルでの議論ではなく、国民レベルでの議論が必要だと思う(議論すべきである)。
723	実際に診療したのではなく相談というのはいまいであるが、医師によって質が変わってしまうと支援料の基準公平性がなくなると思われる。相談内容をきちんと国に報告するシステムを作るといいのでは。
724	医療関係者の方々の時間を割いていただくので、当たり前のことです。
725	75才の年にこだわらず自分の病気のことは知っておきたい。自分のことは自分の体の動けるうちに知っていたいし身近の整理もしたいしそれとなく皆にお別れもしたい。
726	当然のことと思います。
727	・後期高齢者と願ってありますが、現在75才以下の方も治る見込みのない重い病気にかかっている方が多いのではないのでしょうか。
728	・年齢制限があるのも今一つ考えもの。話し合いの度合いもあると思いますが、医師や看護師がそれだけ対応してくれるかも問題があるのでは…
729	金額にしていくらくらいなのでしょう?
730	後期高齢終末期相談支援料は、希望者のみにして欲しい。
731	患者家族に負担がかかるのがやむをえない。
732	特に後期高齢者に限定するのではなく、癌で終末期を迎えた人に必要であると考え。
733	年齢を設定するのに異論を考える。
734	終末期は年齢を問わず、同じように安心して相談していただけるように希望します。
735	医師・看護師にも十分な勉強とその家族に対する親切・優しさの対応を求めます。
736	良いことだと思います。末期相談は遠慮がちな人と積極的な人と差があるので、皆に相談してくれるのは良いことだと思います。
737	後期高齢者の為になるのであれば、いいと思う。
738	前期・後期という区分こそが不信のもとである。この言葉が格差に結びつくように思う。年齢区分はする必要はないと思う。
739	75歳以上の方を対象とする根拠がわかりません。
740	患者や患者の家族の立場になったことを考えると文書で残してもらえることは良いことだと思うし、その際お金がかかったり動いたりすることは仕方ないことだと思う。
741	なんとも言えないが、支援料があるからやみたいと感じて、冷たい気がしてあまり賛成ができない。
742	年金のみや年金のない高齢者より、お金を払うことはかなりムリがあると思いますが、75歳という年齢にはかなり不満があります。

問 11 後期高齢者終末期相談支援料についての意見	
743	後期高齢者終末期相談支援料が導入されたことは知りませんでした。導入される前でも話し合いとか相談とかはあったと思いますが、逆に支援料が導入されると今まで話し合いや相談がされたことでもお金を払わないということでは…と思います。
744	じっくり話し合い納得できれば相談料としていいのではないかと。
745	なぜ高齢者に限定なのか、全く理解できない。重い病気にかかった時に困るのはむしろ今現在子育て中の親世代。
746	終末期医療の問題は、75才以上という区切りではなく年齢に関係なく誰でも相談対応するものである。意識のしっかりした末期患者は希望すれば全員対象とすべきである。
747	無駄な治療は本人も苦しむだろうから、納得できる説明が良いと思う。
748	あまりよくわからない。
749	なぜ後期高齢者に限るのですか? 若くして終末期になられた方々にはどのような対応をするのか、そしてそれは相談支援料をとるようになっていくのですか? とるなら(医師の時間をとるのだから)料金を払ってもいいと思うが、これは年齢には全く関係ないと思う。
750	終末期とって75歳以上の年齢区分をするのでなく、重い病気や治る見込みがない患者は年齢関係ない、終末期(余命6ヶ月)などと判断するの難しいのでは。
751	このようなことは無料で処理されるべき。
752	金額はどのくらいかかるのかわかりませんが、皆平等に誰でも相談した方がいいと思います。それには支払われることは好ましくない。
753	家族が十分と思える説明をしていただけるのか不安です。医師・看護師すべて医療に関わる方は忙しいです。そんな中時間を割っていただけるのか不安です。
754	なぜ75歳なのかかわからない。
755	相談料というのが不明。なぜ金がかかるのか、それも仕事の一つなのに。
756	その場にならないとわからない。
757	それを専門とする人が存在するのであれば、支援料についてはある程度はやむをえないと思う。
758	年齢区分が妥当かは疑問である。
759	医療に係わる人を増やす為には良いと思う。
760	この仕事をやれば、医療従事者には実際が増えるのだから、その分の補償は必要である。医師の仕事の一環と決め付けるのは酷い。
761	名前しか聞いたことがなかった。初めて内容を知った。自分は終末期ではないが普段治療を受けていると、今の状態、これからなる状況、治療法などが自分が理解して説明をしっかりと受けて、というのはありがたい事だと思う。
762	病弱で妻がなくなり、一人暮らしをしている60代後半の弟がいる。終末期は私が健在であれば面倒をみるつもりだし、私が先に逝った時は子供たちに託すつもりでいる。「延命治療は望まない」ということ以外は聞いていない。他聞いておきたいことはあるが姉弟でも遠慮がある。第三者(医療関係者)を介して聞いてもらえれば理解が得られると思う。従って相談料は当然だと思ふ。